

重点取組名	研究成果現地普及事業による試験研究成果の普及
普及活動担当	佐合克好（愛知県農林水産部農業経営課普及・教育グループ 052-954-6412） katuyoshi_sagou@pref.aichi.lg.jp 尾張・西三河・東三河農業改良普及課担当者 （尾張・西三河・東三河農業普及指導センター）
主要な活動地域・対象農業者	県域の3地域を対象
取組結果・成果 <取組みのねらい>	<p>農業普及指導センターと農業総合試験場の密接な連携のもと、経営の改善に効果のある試験研究成果を農業者のほ場等を使用し、早急に現地で組立て、普及することによって、国際化に対応できる経営体の育成や産地の競争力を強化する。</p> <p>1 農業総合試験場において、研究成果現地普及課題を設定し、効率的に現地普及課題を解決するため、企画普及部広域指導グループの普及指導員、研究員からなる課題推進チームを設置した。</p> <p>2 農業普及指導センターにおいて、試験研究員、普及指導員、農業者からなるプロジェクトチームを設置した。研究成果現地普及会議を開催し、実証ほの設置、成果の普及等の活動について検討した。</p> <p>3 17年～18年度の課題 (1)尾張農業改良普及課 「有核ブドウの平行整枝せん定技術の確立」 (2)西三河農業改良普及課 「トゲなしナスの現地での栽培技術の確立」 (3)東三河農業改良普及課 「持続的切り花生産のためのスプレーギク生産技術の確立」</p>
連携機関、協議会等	農業総合試験場、農協、生産者組織
取組の特徴や取組に際しての工夫	<p>(1)有核ブドウの平行整枝せん定技術の確立 広域指導グループの普及指導員、試験研究員による実用化研究会を開催し、技術の紹介を行った。また、実証展示ほを設置し、作業の省力化や単純化効果を検討した。この結果、県内の規模拡大の意欲のある農家から注目されているに至っている。</p> <p>(2)トゲなしナスの現地での栽培技術の確立 ほ場巡回研究会を開催し、試験研究員、普及指導員によるトゲなしナスのせん定方法、草勢管理方法を巡回指導した。この結果、4戸の内2戸で目標とする収量、品質が得られた。また、果形が優れ、収量も安定しているなど優れた特性が明らかとなり、農家の栽培意欲が高まった。</p> <p>(3)持続的切り花生産のためのスプレーギク生産技術の確立 冬期の収量及び品質が低下する要因を施肥かん水管理にあると仮説をたて、それに対する実証ほを設置した。その結果、生産部会で取り組みの方向性について理解が得られた。</p>
【参考】	